

A 日本学生支援機構

在学中に借りて、卒業してから少しずつ分割で返済できるシステム。無利息または低利息なので、返済も無理がありません。少しでも学費の負担を軽減したい方にぴったりです。
※専門課程のみご利用いただけます。

予約採用申込みは
高校3年生の
4月~6月下旬

※高校によって若干異なりますので、高校の先生にご相談ください。

★第二種奨学金は10月上旬も申込み可。

日本学生支援機構奨学金では、高等学校で予約採用申込みができます。予約採用申込みはこの時期のみの募集となります。詳細は高等学校の奨学金窓口にお問合わせください。

高校での予約申込みの方が採用される確率も高く有利です。

- 進学後の申込よりも高校での予約の方が採用される確率が高く、断然有利です。予約申込みはお早めに高校の先生にご確認ください。
※第二種奨学金は10月上旬も申込み可能な場合があります。
- 進学後の申込では夏からの貸与になりますが、予約奨学金は春からの貸与になります。
- 進学先が確定していなくても申込みでき、採用決定後の取り消しも可能です。

平成26年3月以降に高校を卒業し、その後どこにも進学していない方は、高校生と同じ条件で予約採用の申込みができます。
※出身高校が受付窓口となります。

□ 第一種奨学金(無利息)

◇ 募集に関して

募集時期	毎年 春		
貸与月額 (私立専門学校)	自宅通学：53,000円	自宅外通学：60,000円	(選択)自宅・自宅外通学：30,000円
貸与始期	採用決定時期は7月頃(予約採用は5月頃)ですが、4月・5月・6月分の貸与を受けることも可能です。		
応募基準	人物	特に優れた学生等であって、経済的理由により著しく就学に困難がある方。(併用貸与も同じです。)	
	所得	日本学生支援機構が定めた収入基準額以下であること。(基準額、算出方法は家族の数や構成によっても異なります。)	
	学力	〈予定採用〉評定平均値3.5以上など。〈在学採用〉高等学校最終2ヵ年の成績が3.2以上など。	
推薦方法	本校から応募基準内の出願者全員を推薦し、日本学生支援機構において選考、採用を決定します。		

◇ 第一種奨学金・返済例 2年制専攻(専門課程24ヵ月の場合)

返済例	貸与月額	借入金額	返済回数	返済月額	
				返済例	返済年数
自宅通学	53,000円	1,272,000円	144回(12年)	8,833円	9年
	60,000円	1,440,000円	156回(13年)	9,230円	12年
自宅外通学	60,000円	1,440,000円	156回(13年)	9,230円	13年

◇ 第一種奨学金・返済例 3年制専攻(専門課程36ヵ月の場合)

返済例	貸与月額	借入金額	返済回数	返済月額	
				返済例	返済年数
自宅通学	53,000円	1,908,000円	156回(13年)	12,230円	12年
	60,000円	2,160,000円	168回(14年)	12,857円	13年
自宅外通学	60,000円	2,160,000円	168回(14年)	12,857円	14年

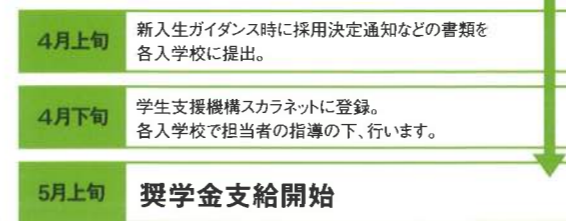
◇ おおよその収入・所得限度額表(4人世帯の場合) ※世帯収入

	第一種奨学金		第二種奨学金との併用貸与	
	給与所得	給与所得以外の世帯	給与所得	給与所得以外の世帯
自宅4人世帯	877万円	391万円	777万円	321万円
自宅外4人世帯	916万円	430万円	833万円	360万円

(平成26年12月現在)

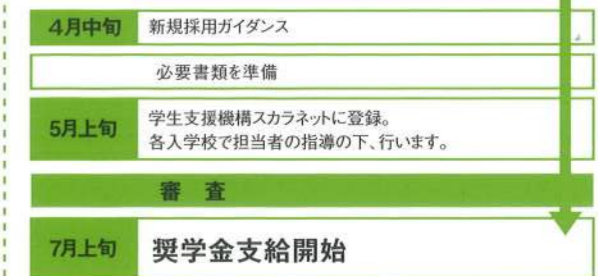
日本学生支援機構(旧 日本育英会)の手続きの流れ

〈 予約採用の方 〉



※在籍されている高等学校を通じて予約採用の申込み手続きをして審査の通った方が対象となります。

〈 入学後に申し込む場合 〉



※大卒・社会人の方も利用できます。

□ 第二種奨学金(利息付)

※入学後金額変更可能(予約採用の場合)

◇ 募集に関して

併せて、「入学時特別増額貸与奨学金」制度(日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の融資を受けられなかった世帯の方が対象)もごさいます。
※特別増額貸与金額:100,000円、200,000円、300,000円、400,000円、500,000円から選択可能

募集時期	毎年 春	
貸与月額 (私立専門学校)	次の中から選択でき、貸与中に金額変更が可能です。30,000円/50,000円/80,000円/100,000円/120,000円	
貸与始期	採用決定時期は7月頃(予約採用は5月頃)ですが、4月・5月・6月分の貸与を受けることも可能です。	
応募基準	人物	特に優れた学生等であって、経済的理由により著しく就学に困難がある方。(併用貸与も同じです。)
	所得	日本学生支援機構が定めた収入基準額以下であること。(基準額、算出方法は家族の数や構成によっても異なります。)
	学力	学習意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると学校長が認めた方。学年平均水準以上。
推薦方法	本校から応募基準内の出願者全員を推薦し、日本学生支援機構において選考、採用を決定します。	

◇ 第二種奨学金・返済例(専門課程24ヵ月/36ヵ月、年利3%の場合) 金利:上限3%

返済例	貸与希望金額	30,000円/50,000円/80,000円/100,000円/120,000円(月額)			
		貸与月額	貸与総額	返済回数	返済月額
2年間 (24ヵ月) 貸与の場合	30,000円	720,000円	108回	7,713円	9年
	50,000円	1,200,000円	144回	10,055円	12年
	80,000円	1,920,000円	156回	15,059円	13年
	100,000円	2,400,000円	180回	16,769円	15年
	120,000円	2,880,000円	192回	19,125円	16年
	3年間 (36ヵ月) 貸与の場合	30,000円	1,080,000円	144回	9,050円
50,000円		1,800,000円	156回	14,117円	13年
80,000円		2,880,000円	192回	19,125円	16年
100,000円		3,600,000円	240回	20,185円	20年
120,000円		4,320,000円	240回	24,222円	20年

◇ おおよその収入・所得限度額表(4人世帯の場合) ※世帯収入

	第二種奨学金		第一種奨学金との併用貸与	
	給与所得	給与所得以外の世帯	給与所得	給与所得以外の世帯
自宅4人世帯	1,193万円	707万円	777万円	321万円
自宅外4人世帯	1,232万円	746万円	833万円	360万円

(平成26年12月現在)